

高村京子議員の2月県議会一般質問の答弁の要旨を紹介します。一般質問、答弁の全文はホームページの[議会の様子](#)からご覧いただけます。



### ＊ ＊知事の政治姿勢について＊ ＊

**高村** 日本は今、格差と貧困が拡大。効率優先、自己責任、社会保障削減を推し進めてきた新自由主義経済を根本から見直すべきでは。

**知事** 政府の新しい資本主義実現会議や、今後の方向性に期待をしている。大胆な改革を国において進めてほしい。

**高村** 世界ではコロナ禍の経済対策として消費税にあたる付加価値税を減税する国が75か国と地域に達している。今県民生活を守るために、消費税の減税を求めるべきではないか。国に対し、働きかけてほしい。

**知事** 社会保障関係費に充てており、安定的な財源となっている。国に対し働きかける考えはない。

### ＊ ＊新型コロナ感染症対策について＊ ＊

**高村** 今感染者が多い5歳から11歳以下の子どもへのワクチン接種について、副反応など保護者の不安もあり成人以上に丁寧な対応が求められる。県の考え方や進め方は。

**健康福祉部長** 重症化リスクの高い基礎疾患のある子には速やかに接種機会を提供し、それ以外の希望者にも早期の接種体制を整備する。効果や副反応は適切な情報が必要で、県としても周知し国にも丁寧な情報発信を求めている。保護者や小児への丁寧な説明、副反応については市町村や医師会、地域の医療機関等と連携し体制確保に努める。

### ＊ ＊地球温暖化防止対策について＊ ＊

**高村** CO2の大幅削減を県民全体で進めようと呼びかけている知事から、石炭火力発電の中止か段階的廃止を電力会社や政府に求めていただきたい。

**知事** 再生エネルギー普及拡大に努めているが、電力会社と意思疎通を図りながらさらに普及し、CO2の排出量が少ない電源に着実に転換されるよう努力していく。

### ＊ ＊ジェンダー平等について＊ ＊

**高村** 様々な性自認の人々の支援のために、自治体が公的に証明するパートナーシップ制度が急速に拡大している。県としてもパートナーシップ制度導入の検討をして県営住宅への入居や、入院・施設入所で夫婦と同様の扱いができるようにすべきではないか。

**知事** 人権政策審議会において人権政策推進基本方針の来年度改定に向けての検討を行っている。松本市が先行してパートナーシップ宣誓制度を行っているが県も県営住宅入居、県立病院での面会や手術の同意、看取りにも家族と同様の取扱いができるよう対応している。マイノリティーとされる方々への支援はしっかり考えていく。

#### ＊質問を終えて＊

オミクロン株が子ども親世代に広がり、自宅療養者が急増！隔離と保護に万全を求めています…コロナ禍2年。

不安をもつ人々に、丁寧に対応するよう求めました。

